

リンゴの病害虫の発生状況（5月下旬） 調査地点：中通り 22 園地、会津 12 園地

(1) リンゴ褐斑病

新梢葉での発生は、平年同様に確認されませんでした。果そう葉での発生時期がやや早く、発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図1）。本病は、初期の発生の場合、斑点落葉病の類似症状を伴う場合が多いため、注意しましょう。

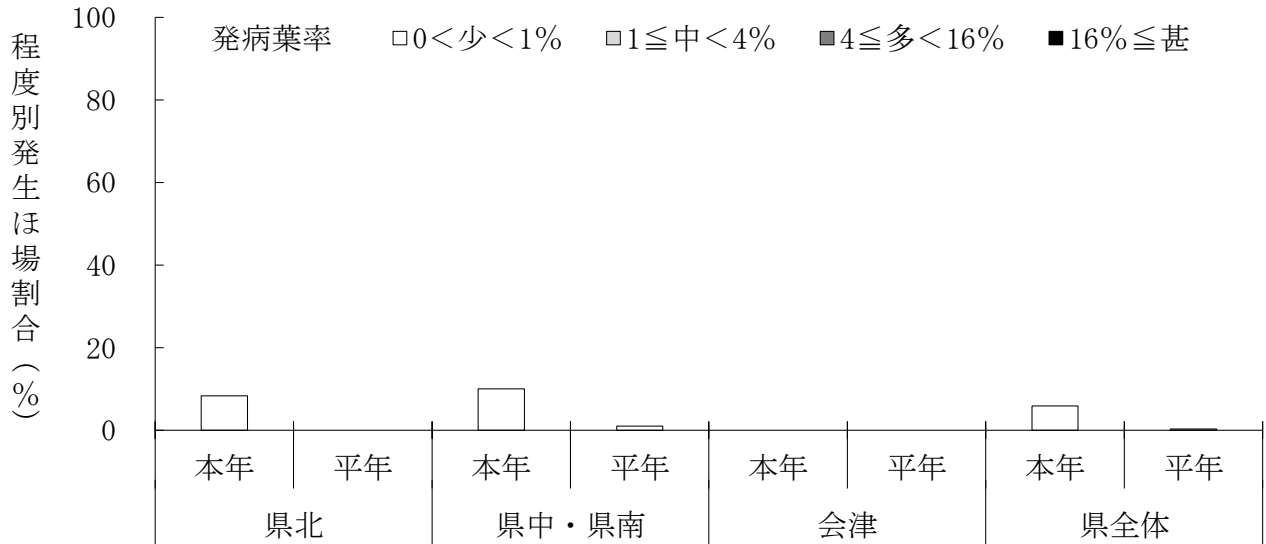


図1 リンゴ褐斑病の発生状況（5月下旬）

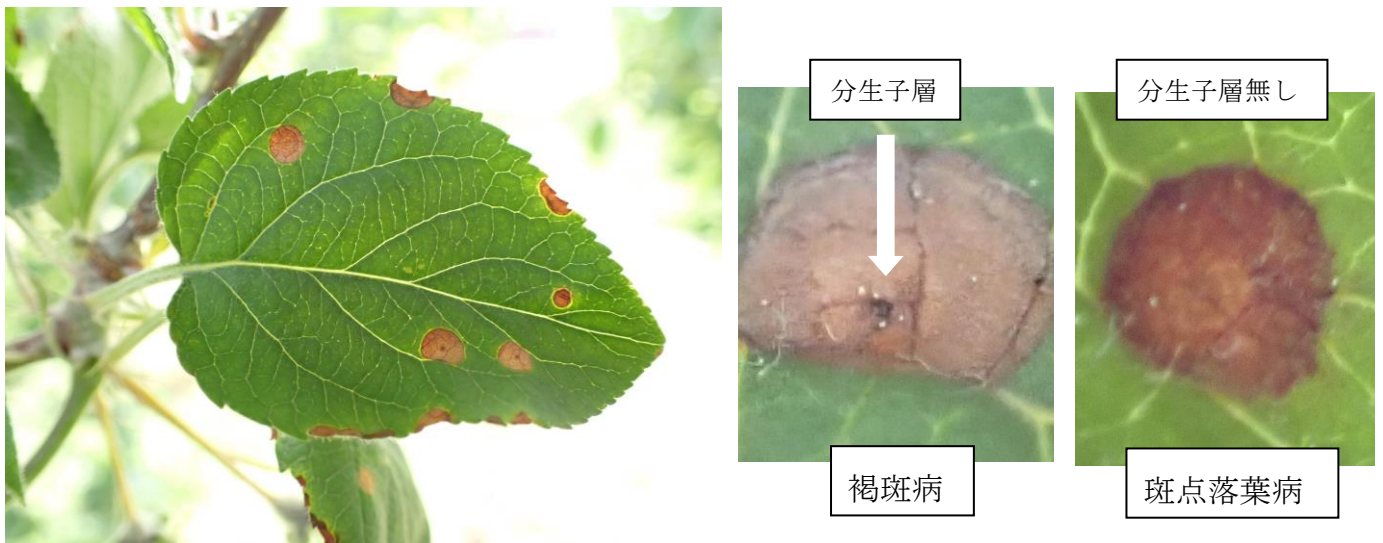


図2 リンゴ褐斑病の果そう葉での発生（5/15、須賀川市）とリンゴ斑点落葉病の病斑との比較

【リンゴ斑点落葉病との見分け方】

リンゴ褐斑病の特徴として、葉表の病斑上に分生子層（小黑点）が形成されます。このため、分生子層の有無を10倍ルーペ等で確認することで（図2）、斑点落葉病と見分けることができます。

## (2) リンゴ斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年並の状況でした（図1）。

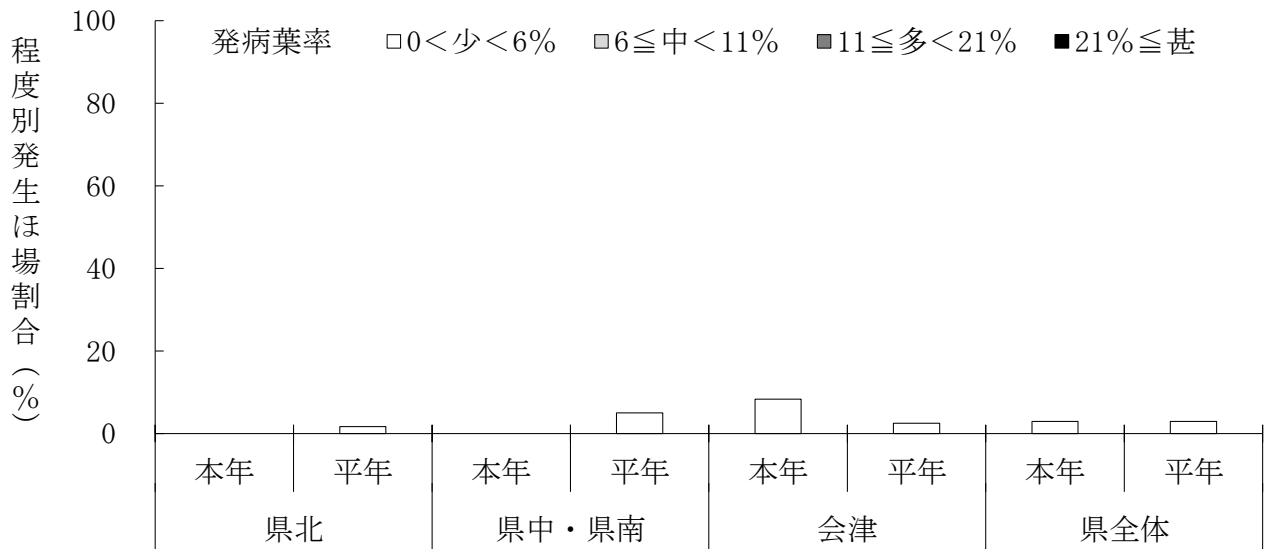


図3 リンゴ斑点落葉病の発生状況 (5月下旬)

## (3) リンゴ腐らん病

発生ほ場割合は平年並でした（図4）。

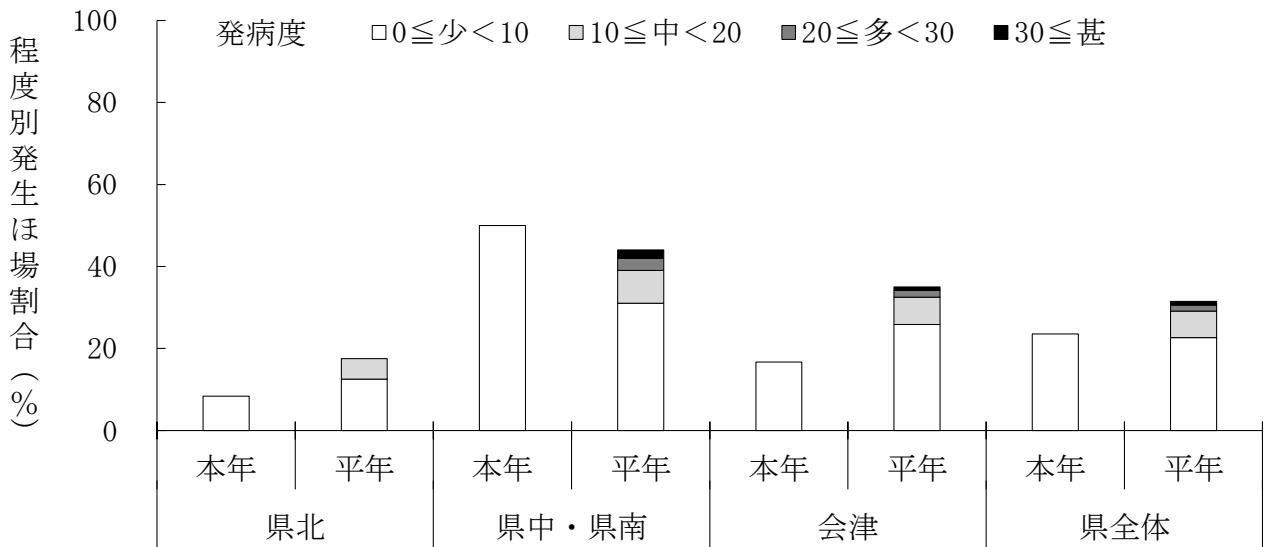


図4 リンゴ腐らん病の発生状況 (5月下旬)

### (3) アブラムシ類

新梢への寄生状況は、平年よりやや少ない状況でした（図5）。

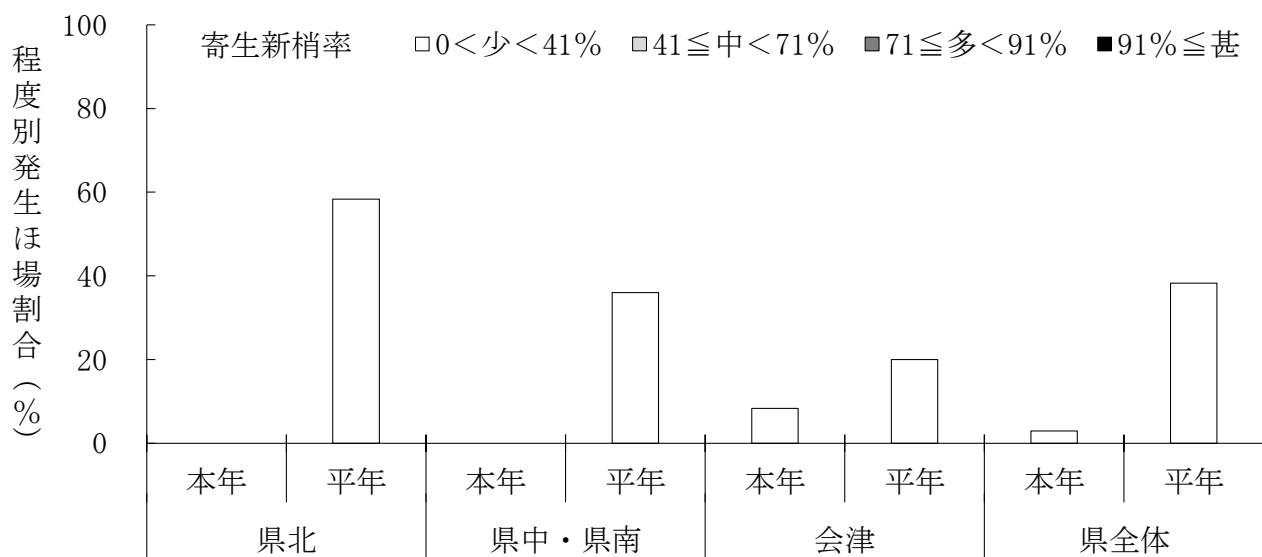


図5 アブラムシ類による新梢の寄生状況（5月下旬）

### (4) ハダニ類

新梢葉への寄生は確認されませんでした。

### (5) 果樹カメムシ類

リンゴへの飛来は確認されませんでした。

指標植物（サクラ）への飛来は、石川町でクサギカメムシおよびチャバネカメムシを確認しました。